

# 秋田駒ヶ岳の火山活動解説資料（平成 23 年 1 月）

仙台管区气象台  
火山監視・情報センター

めだけ  
女岳では、高さ 100m の噴気が観測され、引き続き地熱によると考えられる融雪域が確認されました。

ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意する必要があります。

平成21年10月27日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

## ○ 活動概況

### ・噴気など表面現象の状況（図 2、5～6）

仙岩峠（女岳山頂の南約 5 km）に設置してある遠望カメラ（東北地方整備局）では、27 日に女岳から高さ 100m の噴気が観測されました。遠望カメラで噴気が観測されたのは初めてです（2010 年 4 月 1 日観測開始以来）。この日は、気温が低く風も弱かったため噴気が高くなったと考えられます。この日以外は噴気は観測されませんでした。

27 日午後に岩手県警察本部がヘリコプターにより上空から撮影した画像から、今までに確認されている女岳山頂北部および北東斜面の地熱域から噴気が上がっているのが確認されました。噴気量は、これまでの現地調査等の観測時と比べてやや多い状況でした。また、地熱によると考えられる融雪域が確認されましたが、新たな地熱域は認められませんでした。

### ・地震や微動の発生状況（図 3～4）

火山性地震は少ない状況が続いています。  
火山性微動は観測されませんでした。



図 1 秋田駒ヶ岳 観測点配置図

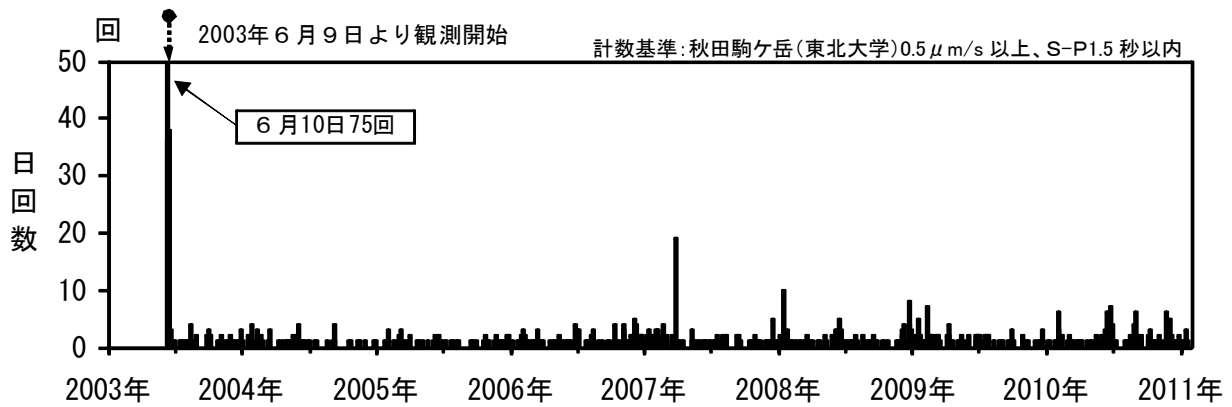
（小さな白丸は気象庁観測点位置を示しています。  
小さな黒丸は他機関の観測点位置を示しています。）  
（東）：東北大学 （東地）：東北地方整備局

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 23 年 2 月分）は平成 23 年 3 月 8 日に発表する予定です。

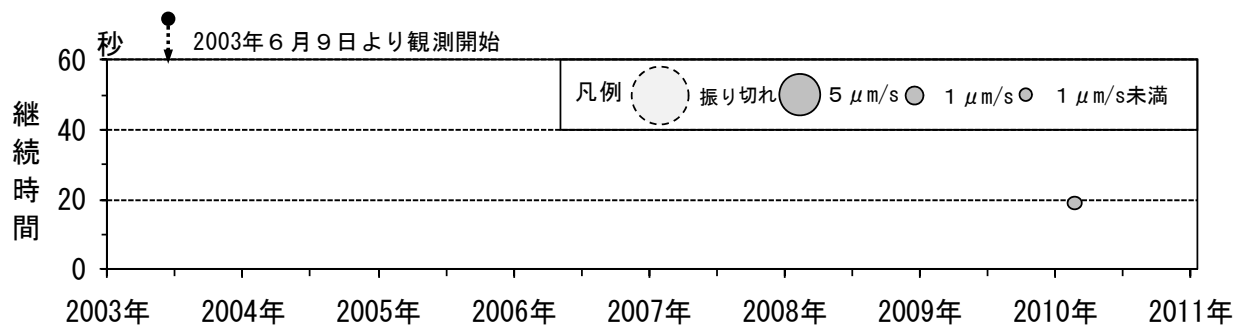
※資料は気象庁のデータの他、国土交通省東北地方整備局、東北大学のデータを利用して作成しています。本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。また、同院発行の『数値地図 25000（地図画像）』を複製しています（承認番号 平 20 業複、第 647 号）。



**図 2 秋田駒ヶ岳 女岳からの噴気の状態（2011 年 1 月 27 日 12 時 28 分頃）**  
 仙岩峠（女岳山頂の南約 5 km）に設置してある遠望カメラ（東北地方整備局）による。  
 赤丸実線で囲んだのが、女岳からの白色噴気で高さは最大 100m。



**図 3※ 秋田駒ヶ岳 日別地震回数（2003 年 6 月～2011 年 1 月）**



**図 4※ 秋田駒ヶ岳 微動の継続時間と上下動最大振幅（2003 年 6 月～2011 年 1 月）**  
 東北大学秋田駒ヶ岳観測点による。

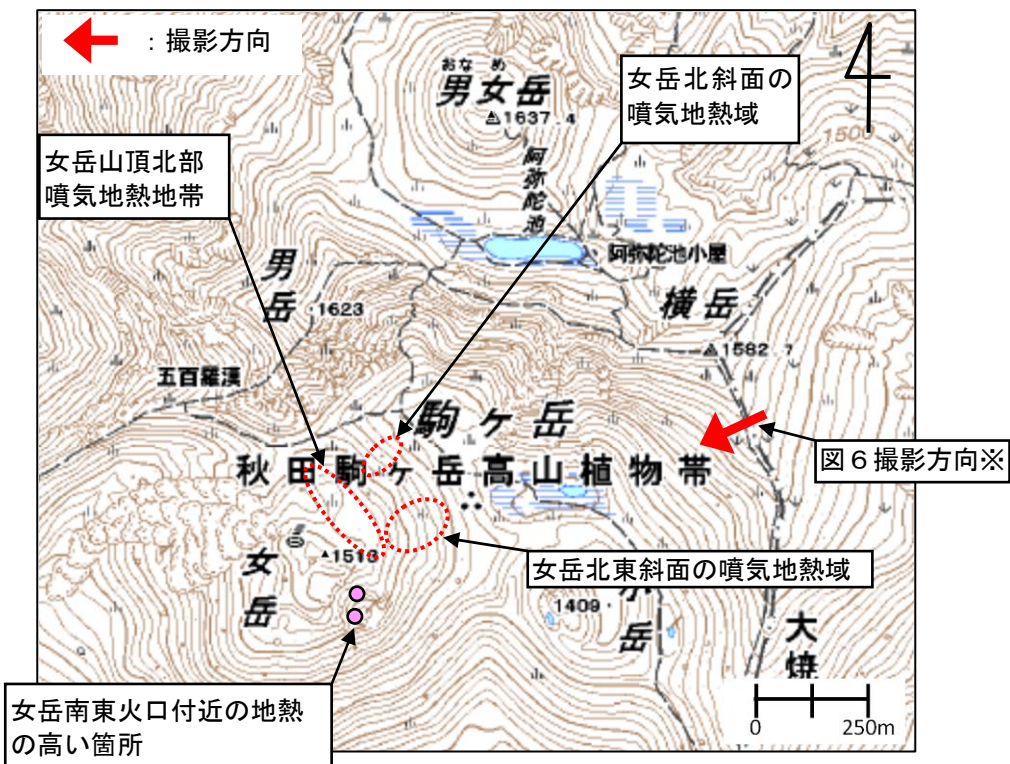


図5 秋田駒ヶ岳 地形図と図6の撮影方向および地熱域の箇所  
 ※おおよその撮影方向を示しています。  
 この地図の作成には国土地理院発行の「数値地図 25000（地図画像）」を複製しました。

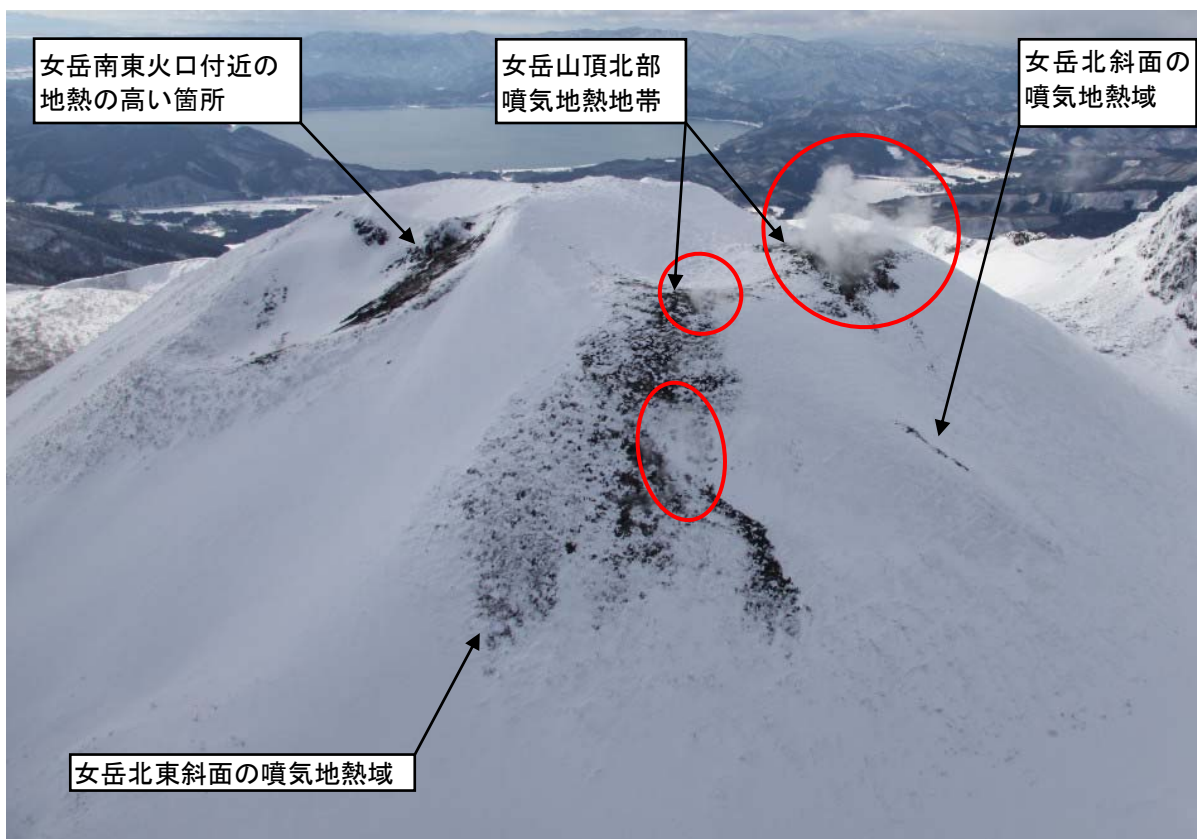


図6 秋田駒ヶ岳 女岳からの噴気の状態（2011年1月27日撮影、岩手県警察本部提供）  
 赤丸実線で囲んだのが、確認された噴気。